

家づくりにかかるお金①

● 家づくりの「コスト」×「資金調達」を知る

家づくりにかかるお金は大きく2つの視点から把握しておきましょう。

一つ目は、家を建てる際の“建て物”にかかる費用＝「家づくりのコスト」。二つ目は、「家づくりのコスト」をどう準備するのか＝「家づくりの資金調達」です。

<家づくりのコスト>

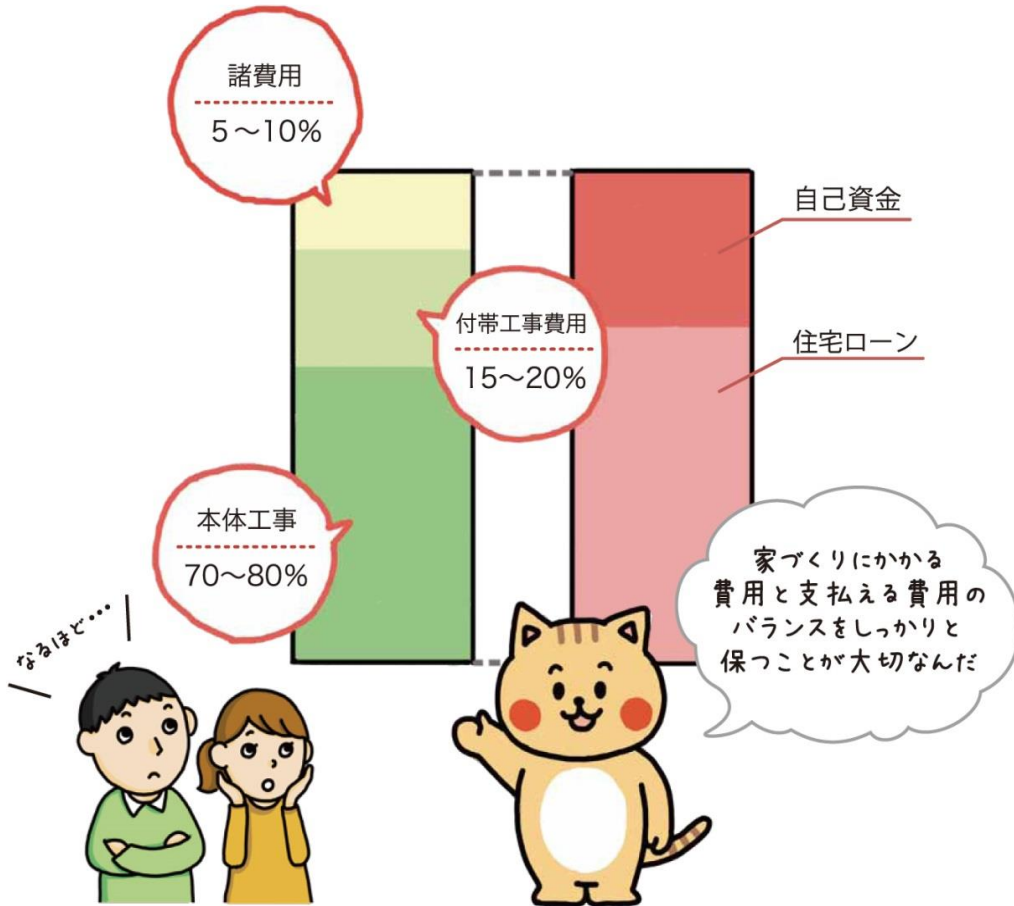
家づくりのコストは、「本体工事費用」をベースとし、その他に「付帯工事費用」「諸費用」などが加算されます。チラシなどでよく見かける「坪単価〇〇円」「〇〇万円の家」といった家の値段は、本体工事価格のことを指している場合がほとんどです。

本体工事費とは別に、設計料、地盤改良や外構工事費、税金や登記費用などを含めた「総費用」がいくらになるのか事前に確認しておくことが必要です。後になって「お金が足りない」と慌てることがないように、事前にしっかりと資金計画を立てることをお勧めします。家づくりにかかる総費用のうち、本体工事費の割合は7～8割くらいとなるのが目安です。

<家づくりの資金調達>

自己資金と住宅ローンを組み合わせて家を購入するケースがほとんどですが、どれくらいの自己資金が必要で、月々いくら返済できるのかなど、初めての家づくりには常にお金にまつわる不安や疑問が付きまといまいます。そんな悩みをスッキリ解決するために、資金調達の流れを理解しておくことが大切です。お金の知識や住宅ローンとの付き合い方をライフプランと共にしっかりと計画しておけば、家を建てた後もお金に困ることなく、豊かに生活することができます。詳しくはこの後ひとつひとつチェックしていきましょう。

家づくりにかかるお金は2つの視点から把握しよう！



Point

家づくりのコスト 本体工事費+別途工事費+設計料+諸費用

イコール ||

家づくりの資金調達 自己資金+住宅ローン

- 以上のことから本体工事費が総費用の70%~80%以内におさまるようにしておくとなりの良い資金計画につながる。